

平成29年度

早稲田医療技術専門学校
学校自己評価結果報告書

平成30年7月

【自己評価項目】

・以下10科目を設定

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の募集と受入れ
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

【評価】 適切・・・4 おおむね適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

1. 学校の教育目標

【教育理念】

本学科は、看護基礎教育で修得してきた人間理解に基づき、個人・家族・集団・地域社会に対する公衆衛生看護活動を実践できる人材の育成をめざす。

保健医療福祉チームの一員として、関係者や地域の人々と協働し、社会ニーズに応じた必要とされるサービスを提供するため、生涯にわたり自己の資質の向上に努める保健師を育成する。

この教育理念に基づき、保健師として地域保健活動への従事を志望する者に対し、必要な知識、技能、能力、態度を育てる専門の教育を行う。

看護師としての臨床経験を踏まえ、入学してくる学生は年齢層も幅広いが、年齢に関係なく総合的な人間理解を行い、人間性豊かな社会の構築に貢献しうる人材を養成、輩出することを教育課程の目標とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

【国家試験合格率並びに卒業率の維持】

- 保健師国家試験合格率 100%
- 卒業率 100% (退学率 0%)

【就職率の向上並びに関連業界等との連携】

- 就職率 100%
- 保健所、企業等、実習施設との連携を密にし、質の良い実習を学生に提供することで、実践力のある保健師を養成する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|--|---------------------------|---|---|---|-------------------------------------|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 学校理念は明確であり、学校案内等で明示されている。 |
| ・学校における職業教育の特色は何か。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1年課程の保健師養成所は全国的に数が少なく、特徴的である。 |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 早稲田医療学園法人本部により将来構想が考案される。 |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | HP や学校案内等により周知されている。 |
| ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 養成所として求められる人材像は明らかであり、学校運営に反映されている。 |
| <input type="checkbox"/> 資料… 学校案内 <input type="checkbox"/> 資料… ホームページ | | | | | |

1) 現状

常に関連業界と連携を取り、業界の動向には注意を払っている。1年課程の保健師養成課程は全国的に数が少なく、特色のある教育課程といえる。
保健師養成所として、関係法令や教育理念に基づき作成されたカリキュラムで教育を行っており、業界のニーズに応じた即戦力を持つ人材を輩出している。

2) 課題と今後の改善方策

教育理念等について、学校案内等で周知に努めているが、まだ十分とはいえない面がある。
周知の方法も含め検討し、機会を増やすよう努めていく。
育成人材像が業界のニーズにマッチしているかどうか、一部、組織的な評価をされていない面があるため、実習施設を中心とした関連施設、地方自治体、業界との連携をさらに強化するとともに、引き続き業界の動向や情報収集の把握に努める必要がある。

3) 特記事項

なし

(2) 学校運営

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|--|---------------------------|---|---|---|-----------------------------|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 法人事務局により策定されている。 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 法人事務局により策定されている。 |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 早稲田医療学園規程集に規定されている。 |
| ・人事、給与に関する規定等は整備されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 早稲田医療学園規程集に規定されている。 |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 早稲田医療学園規程集に規定されている。 |
| ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 早稲田医療学園規程集に規定されている。 |
| ・教育活動に関する情報公開が適切になされているか | 4 | 3 | 2 | 1 | カリキュラム、時間割、シラバスは学生に配布されている。 |
| ・情報システム化等による業務の効率化がはかられているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 情報管理は行われているが、学事システムは未導入である。 |
| <input type="checkbox"/> 資料… 早稲田医療学園規程集 <input type="checkbox"/> 資料… 理事会・評議員会議事録 <input type="checkbox"/> 資料… 授業シラバス、実習要項等 | | | | | |

1) 現状

組織運営については、早稲田医療学園法人本部により組織運営方針が考案され、早稲田医療学園理事会並びに評議員会により検討、審議を経て決定される。
 本校の学校長は早稲田医療学園理事であり、理事会での決定事項は常に教職員へ周知される体制が整えられている。
 また、法人本部と本校教職員は日常業務においても連携を密にとることで、潤滑な学校運営を心がけている。

2) 課題並びに今後の改善方策

本校においては、在学生数が40名と少なく、必要性も低いため、学事システムの導入には至っていない。
 在籍者や卒業生の情報管理については、細心の注意を払うとともに、学事システムの導入も含め、効率的で安全な方法を検討していく必要がある。

3) 特記事項

なし

(3) 教育活動

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|---|---------------------------|---|---|---|---|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 策定されている。 |
| ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 学則及びシラバスにて明示されている。 |
| ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 効率よく定められた内容を学習できるよう編成している。 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 学科の特徴でもあるが、保健師としての実践力を修得できるカリキュラムを編成している。 |
| ・関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 同上 |
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 | 3 | 2 | 1 | 年2回授業評価を実施している。 |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 | 3 | 2 | 1 | ヒアリングを実施しているが、今後、書面による評価を検討する。 |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 学則において明示している。判定に際しては学科会議を実施する。 |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 | 3 | 2 | 1 | 国試対策を実施、カリキュラムは法令等に基づいて編成している。 |
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 法令等に基づき教員を配置している。 |
| ・関連分野における業界等の連携においてすぐれた教員を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 教員採用の際にはより優れた教員の採用に努めている。 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 教員は研修に参加するなど、自らの資質向上に努めている。 |
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 職員にも研修費を支給し、自己研鑽のために使用している。 |
| <input type="checkbox"/> 資料… 学則、シラバス、時間割 <input type="checkbox"/> 資料… 学科会議議事録、卒業判定会議議事録等 <input type="checkbox"/> 資料… 授業評価アンケート | | | | | |

1) 現状

看護師養成所の卒業を入学資格としているため、入学生の大多数が看護師としてのキャリアを積んだ上で本校へ入学する。ほぼ全ての学生が保健師の職業理解と自らのキャリア目標を明確に持っているため、入学後のキャリア教育について特に必要としているわけではないが、保健師養成所という性質上、法令に基づき適切なカリキュラム編成を行っている。

2) 課題並びに今後の改善方策

授業評価アンケートを実施しているが、そのフィードバック、授業改善における体制が充分とは言えない。また、学校関係者評価についても、現状ヒアリングのみとなっているが、今後は書面によるアンケートの実施を行うなど見直しが必要である。

教職員の研修や講習について、個人に任されている面が大きいいため、今後は情報の共有化を行い、質の向上を目指していきたい。

3) 特記事項

なし

(4) 学修成果

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|---|---------------------------|---|---|---|---|
| ・就職率の向上が図られているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 書類の書き方や面接の指導を行っている。 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 国家試験合格率 97.4%を達成している。 |
| ・退学率の低減が図られているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 平成 19 年度の開設以来、卒業生420名、退学者 3 名と極めて低い退学率となっている。 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 全ての卒業生の動向を把握できていない。 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 全ての卒業生の動向を把握できていない。 |
| <input type="checkbox"/> 資料… 就職先一覧 <input type="checkbox"/> 資料… 国家試験合格率推移データ | | | | | |

1) 現状

国家試験合格率について、本校は例年非常に高い合格率を達成している。
 また、平成 19 年度の開設以来、卒業生 420 名に対し退学者 3 名と退学率は極めて低く、目的意識の高い学生の入学と目標達成を支える教員のきめ細かな指導の結果といえる。
 本校卒業生の就職先については卒業の時点で調査を行っているが、その後の状況については組織的に把握できていないのが現状である。ただし、就職先の担当者から卒業生の活躍状況について機会があればヒアリングを行うなどしている。

2) 課題並びに今後の改善方策

卒業生の動向について、学校として定期的に卒業生やその就職先へのアンケートを実施するなどして、社会的評価の把握に努めたい。これについては同窓会との連携も必要になることも考えられるため、今後検討していく。

3) 特記事項

なし

(5) 学生支援

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|--|---------------------------|---|---|---|---------------------------------|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 書類の書き方や面接指導を実施している。 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 相談にはいつでも応じられる体制を整備している。 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 自治体等の奨学金を利用する学生がいる。 |
| ・学生の健康管理を担う体制はあるか | 4 | 3 | 2 | 1 | 集団健康診断を実施の他、実習に備え、予防接種も義務付けている。 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 課外活動は現状積極的に行われていない |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| ・保護者と適切に連携しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 入学生は成年であるため活発ではないが、必要に応じて連携している |
| ・卒業生への支援体制はあるか | 4 | 3 | 2 | 1 | 就職情報ファイルを設置、卒業生の利用が可能である。 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 大学との連携により土曜日の図書館利用等が可能である。 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 学科の性質上、積極的に行われていない。 |
| <input type="checkbox"/> 資料… 学生面談記録 <input type="checkbox"/> 資料… 奨学金案内 <input type="checkbox"/> 資料… 健康診断結果票、予防接種領収証等 | | | | | |

1) 現状

学生は全て成年であり、看護師の有資格者でもあるため、学生生活全般について指導が必要な場面は少ないが、少人数制の特徴を活かし、学生一人ひとりの現状を把握、相談しやすい環境となっている。

就職について、就職担当の教員を配置し、個別相談は随時行っている。就職情報ファイルを随時閲覧できるようにする他、提出書類の書き方や面接指導を希望に応じて行っている。

2) 課題と今後の改善方策

修業年限が1年のため入学と同時に就職のオリエンテーションを行っているのが現状である。特に行政の保健師採用試験は5月から実施となるため、十分な対策が取れない部分がある。募集案内や就職情報については随時学生に提供しているが、今後もできる限りの対策を講じていく。

3) 特記事項

なし

(6) 教育環境

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|---|---------------------------|---|---|---|---------------------------|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 必要十分な教育設備を整備している。 |
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 正規教育課程の履修に加えての課外活動は困難である。 |
| ・防災に対する体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 防災訓練を必ず実施している。 |

資料… 校舎平面図、大学平面図、施設一覧等
 資料… 防災訓練実施概要

1) 現状

施設・設備については、看護師等養成所の運営に関する指導要領 別表 7 に基づき各教室および実習施設に教育備品を設置する他、併設の大学の施設・設備を利用することもでき、充実した教育環境の提供を行っている。
また、社会人経験者も多いことから、防災に関する意識や状況に応じた適切な対応を取ることができている。

2) 課題と今後の改善方策

学外での課外活動やインターンシップ等については、1年という修業年限もあり、現行カリキュラムに加えての履修は非常に困難である。
防災訓練については、併設の大学との合同訓練を実施したり、訓練の状況設定を変化させるなどして、様々な場面を想定して訓練するなど、教育上有効な方法を考えていくことが必要である。
今後は危機管理について教職員での対応などの情報の共有化が必要である。

3) 特記事項

なし

(7) 学生の募集と受入れ

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|---|---------------------------|---|---|---|------------------------|
| ・学生募集活動は適正に行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 十分な受験生の確保と定員充足を達成している。 |
| ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 学校案内やホームページで周知している。 |
| ・学納金は妥当なものとなっているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 競合校の状況を調査した上で設定している。 |
| <input type="checkbox"/> 資料… 学校案内 <input type="checkbox"/> 資料… ホームページ <input type="checkbox"/> 資料… 競合校学納金情報 <input type="checkbox"/> 資料… 入試判定会議議事録 | | | | | |

1) 現状

学生募集に際しては、経営状況はもちろん、競合校の状況を調査した上で、学納金の妥当性を判断、検討している。

また、入学選考については、選考基準に基づき、厳正な審査を行っている。
 学校説明会を実施後、参加者にアンケートを実施、回答や参加者データをマーケティングに生かした募集活動を行っている。

2) 課題と今後の改善方策

全国的に数少ない1年課程の養成所ということもあり、全国から受験生が集まっている状況ではあるが、他校の情報が入手しづらく、十分な対策が立てられていない面がある。今後は、競合校のデータ収集に力を入れ、継続して受験生を獲得していく必要がある。

3) 特記事項

なし

(8) 財務

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|---|---------------------------|---|---|---|----------------------------|
| ・中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 | 3 | 2 | 1 | 早稲田医療学園法人事務局において方針を策定している。 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 早稲田医療学園法人事務局において計画を策定している。 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 早稲田医療学園法人事務局において適時実施している。 |
| ・財務情報公開の体制準備はできているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 早稲田医療学園として公開している。 |
| <input type="checkbox"/> 資料… 資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表 <input type="checkbox"/> 資料… 資金収支内訳表、人件費支出内訳表、消費収支内訳表、固定資産明細表等 <input type="checkbox"/> 資料… 監査報告書等 | | | | | |

1) 現状

早稲田医療学園法人事務局において策定された予算計画に従い、適正な学校運営を行っている。
財務情報等については法人としてホームページ上で公開を行っている。

2) 課題と今後の改善方策

今後も法人事務局との連携の上、適正な学校運営を行っていく。

3) 特記事項

なし

(9) 法令等の遵守

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|---|---------------------------|---|---|---|---|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 法令等に遵守した学校運営を行っているか 常時確認をして学校運営を行っている。 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 個人情報の取扱いには注意を払い厳重に管理している。 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を図っているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 自己評価の実施は行っているが、まだ十分とは言い難い |
| ・自己評価結果を公開しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 本校ホームページ上で公開している。 |
| <input type="checkbox"/> 資料… 自己評価結果報告書 <input type="checkbox"/> 資料… 早稲田医療学園規程集 | | | | | |

1) 現状

自己点検自己評価については、学校長、事務長、事務職員を中心に実施している。
評価報告書については本校ホームページで公開している。

2) 課題と今後の改善方策

自己点検自己評価について、自己点検自己評価の意義について教職員で意識づけを行い、日常的に自己点検自己評価を実施するのに加え、その内容についても見直しをしていく体制を整えていく。

3) 特記事項

文部科学省による「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠する形での整備を進めている。

(10) 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------|---|---|---|----------------------|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に受け入れているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 教育訓練給付金対象講座に指定されている。 |
| | | | | | |

1) 現状

厚生労働省による教育訓練給付金の対象講座に指定されている。
併設の大学では生涯学習の一環としての講義等を実施している。

2) 課題と今後の改善方策

職業観を踏まえ、在学中のボランティア活動について奨励すべきではあるが、現状、積極的に支援できていない。今後は学生に無理のない範囲内でボランティア情報の紹介など行うことを検討していきたい。

3) 特記事項

なし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全国的にも数少ない1年課程の保健師養成所である本校には、看護師として培った責任感、倫理観をもち、地域保健活動に貢献することを希望する学生が学修している。

本校に期待されているのは、保健師養成所として高い職業観や倫理観をもち、即戦力足りうる知識や技術を修得した人材の養成とともに、社会の変化やニーズに適合した教育活動を行うことであり、そのためには教員の教育力の向上と質の担保が常に求められる。

自己点検・自己評価の実施は、教職員が自らの教育活動や学校運営について目標を設定し、達成に向けた取り組みを行うことでより良い学校運営を目指すものであるが、教職員全員でこれを行う PDCA サイクルの確立はいまだ充分とは言えない。

平成 29 年度の自己点検・自己評価の結果、改善が必要な課題とした学校関係者評価における書面評価については、引き続き平成 30 年度に持ち越すこととなった。

また、1年という修業年限の中では課外活動やボランティア活動などを積極的に行うことはカリキュラム上非常に厳しく、低い評価となったが、学生の希望も踏まえ、必要に応じて今後検討していく。

また、平成 29 年度においては、自己点検・自己評価結果報告書についてホームページ上での公開を行った。

今後は、日常業務として自己点検・自己評価を随時実施するとともに、教職員全体での学校運営改善のための PDCA サイクルの確立と活用を目指す。